手紙

慶応二年八月十六日　三吉慎蔵あて

坂本龍馬

青空文庫

其後ハ益御勇壮ニ奉恐慶候。然ニ去ル七月廿七日及八月朔日、小倉合戦終(つひ)ニ落城と承り候。扨御内談承り候事の如く、御妙策被行候事と奉存候。はたして其時恐レ候幕海軍が道を取切候事ハ無之、是もトテモ道ハ取切ハスマイガ先用心可成ナド承リ候　ナリ。

其事を承り候てハ、早　下の関へ出かけ候も、何とか力ラなく奉存候。将軍も弥死(いよいよ)去仕、後ハ一橋又紀州が後ト目ニ望ミ候得ども、一向一条の論なく候よし。何レニしても幕中大破ニ相成候よし。又兼(か)而(ねて)高名なる幕府人物勝安房守も又京ニ出、是非長州征ハ止メニすべき論致し、会津あたりと大論、曰　候よしなれども、何共(なんともかたづき)片付不申。

幕ハ此頃英国のたすけを受候事ハ、毛頭出来不申事相成候これハ小松帯刀が見ツモリよし。兼而仏蘭西の「ミニストル」ハ幕府の周旋斗致セしなれども、此頃薩より日本の情実を仏蘭西の方へ申遣し、彼仏国ニて薩生両人周旋仕候ニ付て、江戸ニ来レル仏の「ミニストル」ハ近日国に帰り候よし。是ハ西郷の咄し也。此頃薩ハ兵ハ動しながら、戦を未だせざるハ大ニ故あり。先ヅ難ズベカラず。幕のたをれ候ハ近(ちかき)ニあるべく奉存候。

近時新聞ハ先ハ右計也。

追白、此便ニ森玄道ニ申遣セし事ハ実ニ小事件ながら実にむごそふなる　なれバ、森及井藤助太夫共より申上候得バ、宜しく御聞取奉願候。但シ下の関へ参りたる長崎の売人の事ナリ。先早々。

万稽首　。

八月十六日　　龍

三吉大兄

青空文庫情報

底本：「龍馬の手紙」宮地佐一郎、講談社学術文庫、講談社
2003（平成15）年12月10日第1刷発行
2008（平成20）年9月19日第7刷発行
※底本手紙の写真のキャプションに、（上田　三吉家文書）とあります。
※丸括弧付きの語句は、底本編集時に付け加えられたものです。
※直筆の手紙の折り返しに合わせた改行は、省いて入力しました。
入力：Yanajin33
校正：Hanren
2010年7月28日作成
2011年6月17日修正
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

手紙

慶応二年八月十六日　三吉慎蔵あて

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

著者　　坂本龍馬
URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/